

《雑学風味》「植物は触れると成長する？」

植物は鑑賞するだけでなく、撫でているとそうしないよりも花をつけるのが早くなるそうです。これは「接触形態形成」といい、人間が接触することで植物が圧迫を感じ、内分必腺から成長を抑える物質が排出されるため、早く花がつくそうです。

まちのでまごど

秀逸な作品が揃った

藤里観光写真コンクール

3月2日、総合開発センターにおいて、「第2回いきいき藤里観光写真コンクール審査会」が行われました。

第2回となる今回のコンクールは、昨



餅もとん汁も大人気

にぎわつけやきの館

大沢地区だるまっこ祭り

2月28日、大沢地区けやきの館前にいて、だるまっこ祭りが行われました。

この日は、会場のけやきの館前に地区住民が大勢訪れ、にぎわいをみせていました。中でも、家庭用品が景品となったアトラクションでは、大人も子どももみんな夢中になり、大きな歓声があがっていました。

その後、臼と杵を使った餅つきが行われ、参加した住民はつきたての餅と地区婦人会からふるまわれたとん汁に舌鼓を打ち、笑顔をみせていました。

健やかな成長を願い

幼稚園ひなまつり会

3月3日、幼稚園においてひなまつり



じっくり審査が行われました

年5月から12月の8ヶ月に渡って作品を募集し、全国52人から118点の応募がありました。

この日の審査は、委員長に日本写真家協会の菅洋志理事、審査員に当町写真業の鎌田孝一さん、秋田魁新報社の荒川康一能代市局長、北羽新報社の八代保編集局長の4名で行われ、多くの作品の中から、藤里町のPRにふさわしい24点の入賞作品が選ばれました。最優秀賞には、横手市在住五十嵐清光さんの作品「秋の収穫」が選ばれ、後日賞金10万円が送られました。

委員長から「今回は日常の風景をとらえた作品が多かったことが良かった。入賞作品は是非、東京のアンテナショップ等で展示して欲しい。懐かしい日本を思い出させる写真展になると思う」と総評が述べられ審査会を閉じました。

会が行われました。

この日は、みんなでひなまつりの歌を歌って会が始まり、先生が説明するひなまつりの由来について熱心に聞いていました。その後、佃和子さん（東坂）から手作り紙芝居の読み聞かせプレゼントがあり、お話しの途中の問いかけにみんな元気に答えていました。

最後はお待ちかねのおやつタイム。みんなで「桜もち」や「ひなあられ」を食べながら桃の節句をお祝いしました。



桜もち美味しいね

元気なふるさと

秋田づくり顕彰受賞

3月3日、山本地域振興局において「元気なふるさと秋田づくり顕彰事業」の表彰式が行われ、当町から「くまげらの会」「観光案内所森のえき」の2団体が表彰されました。

この顕彰事業は、山本地域振興局管内において、自主的・主体的な地域づくり活動に取り組んでいる方や団体を対象としており、今回は4団体、1名が表彰さ